

令和2年度茨城県文化審議会 委員の意見への対応状況

資料1

(敬称略・発言順)

R3年6月1日現在

	委員	意見	対応状況				担当課
			対応済	継続検討	その他	具体的対応状況・補足意見等	
I 人材の育成等	1 羽原委員	地域における文化芸術関連人材の活用がより活発になるよう、市町村単位など地域ごとの人材データベースの作成やマッチングの仕組みづくり等、地域の人に関わりやすい体制整備を推進していただきたい。	○			(生活文化課) 発表機会を求める県内の伝統文化団体を市町村ごとにリスト化し、イベント主催者と伝統文化団体とのマッチング事業を実施。また、若手演奏家の育成のため、「茨城県新人演奏会」を実施し、オーディションに合格し本演奏会に出場した演奏家を、「いばらき文化振興財団 登録アーティスト」としてデータベース化することや、文化団体連合加盟団体をホームページで紹介するなど、体制を整備している。	生活文化課
	2 羽原委員	学校における文化芸術教育では、教員の負担にならないよう、芸術分野のNPOやコーディネーター等をスクールサポーターとして配置する仕組みが必要ではないか。	○			(文化課) 学校での文化芸術体験活動に協力いただける芸術家の情報を収集し、名簿を作成。名簿は、教育情報ネットワークに掲載し、各学校や教育委員会で文化芸術体験活動を計画する際の参考資料として活用している。また、併せて、新規登録について働きかけていく。 ※掲載されている芸術家・団体の数:88件(R3.3.31現在) (高校教育課) 地域の外部人材の活用及び部活動に係る教員負担軽減に繋げるため、部活動指導員を派遣。令和3年度より文化部活動も対象部活動とし、現在9校に10名を派遣している。 (義務教育課) 現在小中学校では、校内の担当者が芸術体験教室等に対応している。なお、申込書類等もだいぶ簡略化され、以前より教員の負担も軽減しているところ。	文化課 義務教育課 高校教育課
	3 澤畑委員	学校で児童生徒がプロの演奏や文化芸術に触れるためには、管理職や教員の理解が重要である。長期的視点から、文化芸術に対する理解を深めるような教員育成を続けていただきたい。	○			(文化課) 学校での文化芸術体験活動協力芸術家の情報提供を行うとともに、文化庁事業「文化芸術による子供育成総合事業」等の積極的な利用を推奨。 (義務教育課) 県教育研修センターの研修講座において、伝統音楽などの研修を行っており、伝統文化に対する理解を深め、バランスの取れた教員を育成するよう取り組んでいる。	文化課 義務教育課

	委員	意見	対応状況			担当課	
			対応済	継続検討	その他		具体的対応状況・補足意見等
Ⅱ 文化の振興	4 能島委員	少子高齢化の影響が文化活動全体に及んでいる。また、令和元年度末からは新型コロナの影響もあり、文化団体は非常に苦勞しながら活動している。県内最大の文化の祭典である県芸術祭に対する支援の充実をお願いしたい。	○			(生活文化課) 茨城県芸術祭補助金について、コロナ禍でも団体が催事を実施できるよう、例年の補助金15,000千円に加え、感染症対策費用(消耗品費、会場費、人件費等)として1,500千円を追加で補助。	生活文化課
	5 川井委員	文化芸術活動を行う個人や団体に対して、オンライン配信やインターネットの活用に関する技術的な支援が必要ではないか。	○			(生活文化課) オンライン配信やインターネットの活用について、令和3年度から県民文化センターにオンライン配信設備を導入。県民文化センターで実施する公演において活用する技術的な支援も実施。	生活文化課
	6 大橋委員	新型コロナの影響で伝統文化に関する活躍の場、体験の機会が激減している。伝統文化継承のためにも、県の支援をお願いしたい。	○			(生活文化課) 伝統文化団体の活動支援のため、令和3年度はイベント主催者と伝統文化団体のマッチングを10団体程度を目標に実施するとともにパフォーマンスの動画配信や、子ども伝統文化フェスティバルを開催し8団体程度に発表する機会を提供していく。また、伝統文化団体の活動実態に関するアンケート調査を実施し、団体のニーズを事業に反映していく。 (文化課) 県内に伝わる国・県・市町村指定等の民俗文化財の映像を収集し、YouTube上で公開する「いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス」を令和3年度より進める。当事業により、県民の当該文化財に対する理解と認識を深めることに寄与するとともに、保存意識の高揚及び、県内外に動画配信されることによる本県の魅力向上を図る。	生活文化課 文化課
	7 生田目委員	オンラインによる動画配信は、字幕、手話コンテンツ、副音声などの付加により、誰もが利用できるコンテンツにすることができる。芸術文化の平等性や国際性の確保につながるようなコンテンツの充実をお願いしたい。		○		(生活文化課) 令和2年度に「親子を対象としたオーケストラコンサート」の公演動画配信(Youtube)を行った際は、楽器やオーケストラについての解説の場面において字幕の付加を行い、誰もが楽しめる動画になるよう努めた。なお、令和3年度から県民文化センターにオンライン配信設備を導入したところであり、活用にあたっては、誰もが利用できるコンテンツとなるよう努めていく。 (文化課) 各美術館・博物館において、オンラインによる動画配信等を進めているところ。障害のある方々への取組については今後検討していく。	生活文化課 文化課